

元気いっぱい、進んで外遊び や運動を楽しむ子どもの育成

大分県大分市立明野西小学校

全校児童数	445名(男子236名 女子209名)		
全クラス数	19	教職員数	30名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	大分市立明野北小学校		
体育専科教員名		後藤 秋文	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆R4体力運動能力調査から

体力運動能力調査(R4)において全国平均を達成した児童の割合は44.8%となっており、前回(R3)の40.6%から改善させてきているが、「握力(筋力)」「50m走(スピード)」は全国平均を達成した児童の割合が30%以下であり弱点となっている。低学年は「ボール投げ(巧緻性)」が弱い傾向がある。

◆体育指導の工夫改善から

運動に興味・関心をもっているが、授業の中で消極的な言動がある。個に応じた適切な指導・支援が不十分であり、指導者間の連携を図っていく必要がある。

2 取組の計画

①授業の充実

- ・ゲーム的要素を取り入れた補強運動
- ・みんなが楽しめるルールの工夫
- ・ICT、ワークシートの活用 ・地域人材の積極的活用

②体育的環境の改善

- ・授業で使える有効な用具の充実と整理整頓
- ・体育的行事の改善
- ・「体育目標」と「運動特別期間」の設定

Do：実践内容

1 授業の充実

- ・マット・跳び箱運動、高跳びでは主運動につながるサーキットを実施した。
- ・ボール運動では、誰でもボールを操作でき得点するチャンスがあるゲームのルール作りを行った。
- ・iPadを使用し、個人やチームの動きを撮影し動きの確認をさせた。その動画をもとに教え合い活動を行った。
- ・体操専門の外部講師やプロサッカー選手を招き、本物にふれさせた。
- ・「短距離走でのスタート」や「リレーでのバトンパス」など、全学年で統一したやり方に取り組みさせた。

2 体育的環境の改善

- ・特に破損が激しかったマット、跳び箱、ロイター板、ジャンピングボードの補充・修繕を行った。
- ・運動会で団体競技やリレーを行い、種目数を増やした。
- ・各月に体育目標、各学期に運動特別期間を設定し年間を通した体力向上の取組を全校で行った。

●工夫したこと (&苦労した点)

1. 授業の充実

- ・テンポの良い授業を展開し、感覚を磨く練習の時間を確保するようにした。
- ・ICT機器を活用し、動きや技のポイントをおさえることで、目標を設定したり、課題を解決させたりするのに役立たせた。また、振り返りの際に上達度を確認させることで、運動が苦手な児童に自信をもたせることにつなげた。

2. 体育的環境の改善

- ・運動会で「玉入れ(低学年)」「綱引き(高学年)」を実施し、弱点であった「ボール投げ」や「握力」の強化を図ることができた。
- ・各月の体育目標に「体の健康」や「食の大切さ」についての内容を設定し、養護教諭や栄養教諭とも連携し集会や放送などで全校に指導を行った。
- ・各学期に全校で取り組む運動特別期間の内容を昨年度から変更した。柔軟や体幹を鍛えるストレッチ(1学期)を家庭で取り組んだり、異学年との交流の機会を設けるために縦割り班で長縄(3学期)に取り組んだりした。

Check：取組の成果

- ①体力運動能力調査の結果が昨年度より改善された。全国平均を達成した児童の割合が「44.8%(R4)」から「57.3%(R5)」に増加した。また、弱点であった「50m走」は「8.33%(R4)」から「50%(R5)」に推移した。
- ②体育に関するアンケートで、体育の授業が「できた・分かった・楽しい」と回答する児童の割合が93%であった。

Action：今後の課題

- ①担任との打ち合わせをする時間が確保できておらず、しっかりと役割分担ができていない。子どもたちへの指導・支援が不十分である。
- ②用具が不足していたり、準備に時間がかかってしまったりしている。有効な用具を充実させるだけでなく、各学年の系統性や実施時期を考えた教育課程を編成し、指導しやすい環境を整えていく必要がある。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

運動を通じて、目標達成に向けて前向きに努力する姿が多く見られるようになった。また、自己肯定感の高まりが感じられ、友だちと協力する態度の育成につながっている。

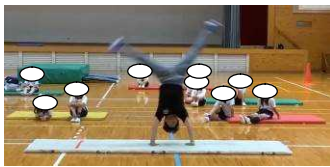
主運動につながるサーキット 5年 跳び箱運動



運動量を確保するとともに、技の完成につながるポイントをおさえた練習メニューをサーキットに取り入れ実施した。

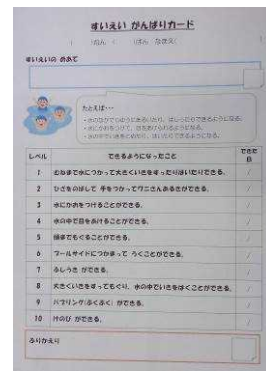
- ①跳び箱への跳び上がり、跳び下り
- ④前転 または ゆりかご
- ⑥ステージから前転し、マットへ着地
- ②足ジャンケンからのスタージャンプ
- ⑤ロイター板を使って、
- ⑦平均台またぎ
- ③細長いマットで開脚跳び、閉脚跳び
- ステージへ跳び上がり
- ⑧腕立てジャンケン

地域人材の積極的活用



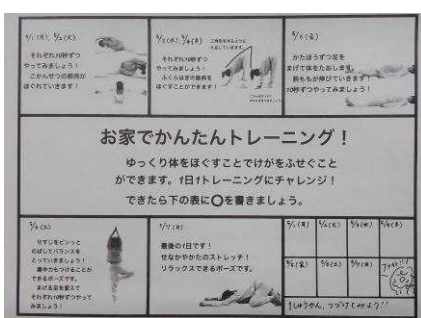
体操専門の講師を招いたり、プロサッカー選手との交流会を開いたりした。子どもたちの意欲向上にもつながった。

ワークシートの活用



各学年の系統性をおさえたワークシートを作成し、研修などで共通理解を図った。また、これまでの実践の資料を集め、どの先生も活用できるようにした。

各学期に運動特別期間



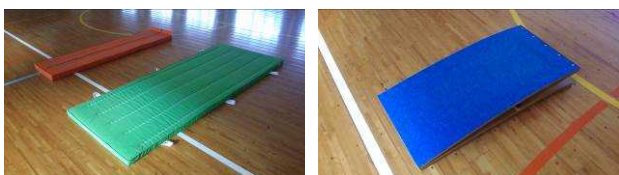
<1学期>
ケガをしないための体作り
<2学期>
持久走タイム
<3学期>
なわとびタイム
1月:短縄 2月:長縄

養護教諭と栄養教諭との連携

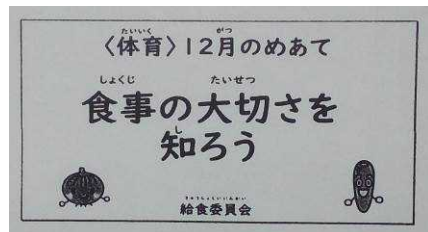


6月の体育目標:「丈夫な体を作ろう」
「歯の大切さ」「熱中症対策」について指導。

体育用具の補充・修繕



有効な用具の数を増やし、授業の充実を図った。



12月の体育目標:「食の大切さを知ろう」
病気に負けない、元気な体作りの方法を発表。